



平成 27 年 9 月 25 日現在

宗像国際育成プログラム 第 4 回タイムスケジュール

日時：10 月 3 日（土） 13:00～17:00

場所：海の道むなかた館 講義室（宗像市深田 5 8 8 番）

スケジュール

13:00～ ガイダンス（15 分）

宗像市子ども育成課

一般社団法人九州のムラ 代表理事 養父 信夫

（宗像国際環境 100 人会議常務理事）

13:15～ 講義 （60 分）

講師：デューク更家 氏

『歩育のススメ～元気になるウォーキングレッスン』

14:15～ 休憩（15 分）

14:30～ 講義 「豊かな海づくり プロジェクト T の取組について」(60 分)

講師：福岡県立水産高等学校 大山教諭

15:30～ 休憩（15 分）

15:45～ 講義 「漂着物 ～海からのメッセージ～」(60 分)

講師：石井忠氏（初代漂流物学会会長）

16:45～ ガイダンス

17:00 終了（予定）

講義 デューク更家氏



写真/小関俊一

[プロフィール]

1954年4月10日、和歌山県新宮市出身。

大阪経済大学卒業。

ファッションショーの演出およびプロデュース、モデルへのウォーキング指導を手がけた後、間違った歩き方で足を痛めた母親のことをきっかけに、一般向けのウォーキングレッスンを始める。気功や運動生理学、武道、ヨガ、バレエ、ピラティス、呼吸法などの要素を取り入れた独自のエクササイズ「デュークズウォーク」を確立。

細胞から活性化させ、心身を整え、健康で更に美しく体を作り変える独自のウォーキング理論は、簡単でユニークでありながら、美と健康に即効性があるとして、女性を中心に高く支持される。

美と健康、魅力的な女性になるための講座を企業研修やイベント等で展開。各地のホテルでは、軽快なおしゃべりとともにランチまたはディナー トークショーを開催。

また、アドバイザー、キャラクターモデルとして、アシックス、ホームメイド協会、全米連、キリンアルカリイオン水、マルコメ等、様々な企業でウォーキング論、ライフスタイルなどが取り上げられる。

「最期まで自分の足で生きる人生のよろこび」を提唱すべく、デューク更家の代行講師となる、デューク更家公認ウォーキングスタイリストおよびウォーキングパーソナルの育成に力を注ぎ、カルチャースクール、企業研修、イベント等への派遣を行っている。

著書には 50 万部を売り上げた「1メートルウォーキングダイエット」(講談社)、「ウォーキング考」(角川 SS コミュニケーションズ)をはじめビデオ、DVD、多数。

4年半続いた関西テレビ系列「デューク更家の美 WALK」では、毎週一人の女性の悩みを解消し、きれいを引き出す技が評判になり、視聴率 21.5 パーセントを獲得した。

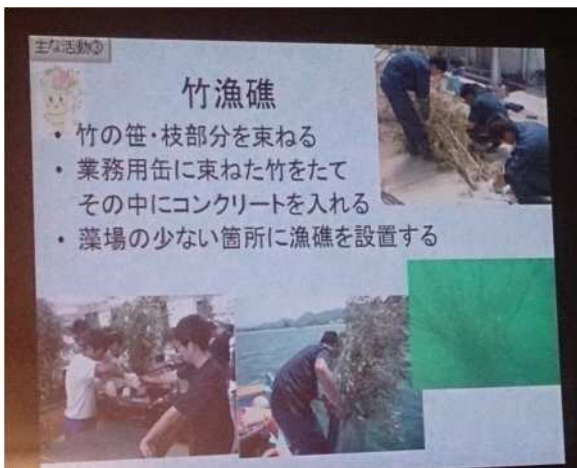
その独特の理論とオリジナルなエクササイズで、人々の健康と歩くことへの新しい意識付けに大きく貢献したとして、2004年10月和歌山県新宮市より「市民荣誉賞」授与
2004年11月和歌山県より「文化奨励賞」授与

講義 福岡県立水産高等学校 アクアライフ科

主幹教諭 大山 欣丈 先生

中山 航 先生

海の再生に必要な海中のミネラルを補うため、森林破壊の原因の一つでもある「竹」の活用に注目。竹林の整備、竹製漁礁や鉄粉と竹炭の鉄炭おむすびの設置等により、海の栄養分を補いながら水産資源を再生させる取組みを行っている。



講義 石井忠氏 [初代漂着物学会長 (現顧問)]



1937年、福岡県生まれ。
國學院大学文学部史学科卒業。中学、高等学校教諭、九州産業大学非常勤講師を経て、2013年3月まで古賀市立歴史資料館館長を勤める。福岡県文化財保護指導員、福岡市文化財保護審議会委員など歴任。漂着物学会を立ち上げ、会長を勤める。日本デザイン会議地域文化デザイン賞(1983年)、福岡県文化賞(1998年)受章。

40年以上、海岸の漂着物を蒐集し研究を行っている。自宅の離れを改装した「超ミニ博物館」には、これまでに収集した漂着物を展示しており、その数は1万点以上に上る。主な著書に、『ビーチコーミングをはじめよう 海辺の漂着物さがし』(木星舎刊、2013年)、『新編漂着物事典 海からのメッセージ』(海鳥社、1986年)、『海の漂着物・黒潮からのメッセージ』(宗像ユリックス、1989年)、『漂着物の博物誌(よりものはくぶつし)』(西日本新聞社、1977年)がある。

